

2018年1月号 Vol. 54 (2018年1月1日発行)

せんしゆん



ISO9001:2008認証取得
日本医療機能評価(3rdG:Ver.1.1)認定病院

<http://www.senshunkai.or.jp/>

千春会

検索

発行責任者：菊地 孝三



写真提供：七岡内科医院 七岡 聖魏 先生
長岡天満宮・雪の日の夜明け

理 念 (3つの使命)

1. 患者・利用者の自立を支援し、良質な医療・看護・介護を提供する。
2. 仕事に誇りと責任を持ち、社会人としての向上を目指す。
3. 事業の充実により、住民の健康増進と地域社会の発展に寄与する。

基本方針 (5つの志)

1. 優しい心を基本とする。
2. 医療と介護の相互充実を基本とする。
3. 疾病・障害を一体的に把握し、総合的な医療・介護サービスの提供を基本とする。
4. 良好な療養環境の維持並びに向上を目指す看護・介護を基本とする。
5. 互いの立場を理解し、尊重しあう職場づくりを基本とする。

医療法人社団 千春会

新年のご挨拶



千春会病院 院長 藤原 仁史

謹んで新春のお慶びを申し上げます。本年も千春会グループの職員一同を代表してご挨拶申し上げます。

2025年への道筋、そして更にその先の時代を見据えた時、今春の医療・介護報酬の改定は実質的には最後の同時改訂です。これから超高齢社会、人生100年時代を迎えます。今後の「地域包括ケアシステム」の実現に向け、各医療機関の機能分化による地域完結型の医療提供体制の強化が求められる中で、地域医療調整会議等での議論がこれまで積み重ねられてきました。また人員配置や様々な体制整備のみならず、「アウトカムが要求される」時代、そして提供する「サービスの質」が益々重視される時代です。

千春会は、この乙訓において急性期・亜急性期・回復期の患者さん、利用者さんに対して、法人理念に則り、本年も良質な医療・介護サービスを総合的に丁寧提供し、地域に貢献して参りたいと考えています。

当院では7:1の看護基準の病棟60床の中に、24床の「地域包括ケア病床」を届出し、急性期の治療に引き続いて在宅復帰を目指す方々にリハビリテーションを積極的に行っています。乙訓地域での回復期病床機能を果たすと同時に、多職種によるチーム医療で早期の在宅生活復帰に努めています。

また在宅療養を希望される方には、「訪問診療」のみならず、「訪問看護」「訪問リハビリ」「訪問栄養指導」を行って、在宅生活支援を行っています。今後も大切に考えていくべき在宅での終末期医療、看取りについても、訪問看護ステーションとも協力してしっかりとその役割を果たしたいと考えます（昨年度の在宅看取り実績は16件）。

当法人では、介護老人保健施設、グループホーム、サービス付き高齢者向け住宅、ショートステイに加えて、関連社会福祉法人の特別養護老人ホームにおきましても、スタッフとご家族の話し合いの中で施設内看取りを希望される方に対し、支援できる体制を整えています。

また、積極的な緩和医療として、「ガンの温熱療法」を行う千春会ハイパーサーミアクリニ

ック（JR長岡京駅前）には、遠方からもガン患者さんが来院されております。さらに千春会病院では、癌性腹膜炎等で難治性腹水に悩まれている患者さんに、国内第2の実施実績である「KM-CART（腹膜濾過濃縮再静注療法）」を行っており、多くの患者さんが治療を受けています。

ハイパーサーミアクリニックでは軽症小児救急の診療を夜間と土曜日の午後（受付時間：平日19:00～21:00、土曜13:30～17:30）に行っており、高度医療が必要な場合の後送体制も整えています。

介護におきましては、昨年3月に、新規の介護老人保健施設「桃山」を京都市伏見区にオープンいたしました。老健入所100名、デイケア午前午後各100名、デイサービス30名、ショートステイ13名の施設です。老健につきましても、昨年、介護保険法第8条において「リハビリを提供する在宅復帰・在宅療養支援を行う地域拠点」と定義が新たに明示されました。千春会が従来から目指し、老健「春風」で実践してきた「在宅復帰支援施設」としての老健本来の役割を、この「桃山」におきましても、しっかり果たせるよう努力して参ります。そのために、リハビリ療法士や管理栄養士等の多職種のスタッフを充実させており、「地域交流スペース」も有効に活用することで、地域にとって必要かつ身近な存在へと成長してまいりたいと考えています。

今春には、長岡京市からの依頼により、子育て支援の役割として「病児・病後児保育」を当院に隣接して開設致します。円滑な運営を行政・地域の医療機関と連携して行っていく所存です。

千春会は、菊地孝三理事長を先頭に『医療と介護の融合』を合言葉として頑張っています。

そして、今年も医療・介護の全職員が一丸となり、「地域包括ケアシステム」の重要性を理解し、その構築と実行・運営に邁進して参ります。

今年の千春会も、どうぞよろしくお願い申し上げます。

医療法人社団 千春会

☎ 075-953-2712

病児・病後児保育施設
開設準備室 担当者まで

「病児・病後児保育 あすなろ」 いよいよ開設!

JR 長岡京駅前 千春会病院隣接
長岡京市開田 2 丁目 14-26 (JR 長岡京駅 徒歩 3 分)



長岡京市からの要望を受け、「病児・病後児保育施設」の年度内開設に向け進めてまいりましたが、いよいよ 2 月上旬にオープンの運びとなりました。

これまで、千春会では、子どもさんの具合が急に悪くなった場合や土曜日午後にも対応できるよう、「平日夜間診療と土曜午後診療」を行える小児科(ハイパーサーミアクリニック内)を平成 25 年に開院し、子どもさんの急な病気に対応してまいりました。

今回は、さらに病気になった子どもさんの受け入れができるよう「保育施設」を開設いたします。



急ピッチで進む改築工事

「急な病気で保育園での対応が難しい」「病気になった後で、まだ保育園への登園がかなわない」など、これまでお困りだった子育て世代をさらにバックアップしてまいります。

この施設は、主に長岡京市在住の方を対象(市外の方も受け入れ可)に、勤務されている保護者の方はもちろん、ご自宅で保育されている方でも、みなさん安心してご利用いただけます。

これからも、行政はじめ関連機関と連携を密にして、子育て世代の支援に努めてまいります。(詳細はお問い合わせください)

☎ 075-953-2712 開設準備室 担当者まで

きらら保育園 ニュース

保育・高齢複合施設 友岡
(社会福祉法人 和楽会)

地域への想いも
大切に...

地元産の「竹」が大活躍! 知力・体力・交流力をつくります!

平成 27 年開設の「きらら保育園」は、小さな子どもたちと高齢者の方が自然に触れ合える施設として、思いやりあふれる保育指針を持って運営してまいりました。

また、施設内での多世代交流はもとより、地域に開かれた施設として地域交流にも力を入れております。

今年の「きらら保育園」の運動会も隣接する長岡第四小学校の体育館をお借りし、可愛らしい園児が小学校の校内を行き来する姿に思わず小学生からも笑顔がこぼれました。

種目では、「地域に目を向ける」ということで、乙訓地域特産の「竹」を登る種目が加えられ、小さな手足を使って立派な若竹に挑み、てっぺんまで登る子どもたちの勇姿に惜しめない拍手が送られました。地域や人との関わりを自然に学び、様々な交流ができる子になっていただきたいと願っています。



青竹のぼりに挑む子どもたち

乙訓地域の災害医療体制強化に向け 乙訓全体で挑む訓練



迅速かつ適切な医療の提供へ

乙訓地域災害医療救護訓練が実施されました

乙訓地域では初めてとなる各連携機関、同時の大規模訓練が一斉に実施されました。

大規模地震(震度6強)が発生し、多数の人的(死傷者)、建物倒壊、道路寸断等の被害が出たという想定で、行政、消防、警察、医師会、災害拠点病院と地域の7病院^(※1)等の全18機関が参加する大規模な災害医療救護訓練となりました。



多くの負傷者を想定

今回の訓練では、地域災害拠点病院である済生会京都府病院と医療救護活動訓練の実施モデルとして千春会病院が対応にあたる想定となり、各機関による災害対策本部の迅速な設置運営や防災行政無線等による情報の共有、傷病者の的確な搬送などを目的に初動期の医療救護活動訓練がなされました。

千春会病院にはJR長岡京駅周辺の負傷者が多数来院し、医療対応や「トリアージ^(※2)」がなされ、各機関との連携のもと、迅速かつ適切な医療措置を行うという、流れが想定されました。民生委員さんが実際の傷病者役を本物の役者顔負けの演技力で努められ、医師、看護師スタッフが対応。まさに本番さながらの緊迫感あふれる真剣な訓練がそれぞれの機関で同時に実施されました。

※1…乙訓7病院 (済生会京都府病院、千春会病院、向日回生病院、
新河端病院、長岡京病院、長岡病院、西山病院)



トリアージ・タグ

トリアージ^(※2)について 病態が共通認識できるよう、識別できるトリアージ・タグを使います。

トリアージ……災害や事故などで同時発生した大量の負傷者に対して、限られた医療資源(医療スタッフ、医療機器、薬品等)で、一人でも多くの傷病者に対して最善の治療を行うために、診療前に患者の重症度に基づいて、治療の優先度を決定することをいいます。(参照「大辞林」)

千春会病院での訓練について

千春会では、すぐに理事長、院長が災害本部を立ち上げ、来院する多数の患者のトリアージを実施。職員全員が非常事態の中で適切に対応するという、ストーリーでなされました。シナリオでは、軽度の患者さん役のはずが、容態を確認する中で、シナリオを超えて緊急の治療対応がなされるなど、本番さながらの真剣な訓練が実施されました。さらに訓練直後の院内及び済生会京都府病院での報告・反省会まで、乙訓地域を想定した大規模災害医療訓練は終始、緊迫した中で行われました。千春会では、大規模災害に備え、備蓄資材や食料なども常時管理しておりますが、さらに今回の医療救護訓練もしっかり活かせるよう、常に意識を持って緊急時に備えてまいります。



① 災害対策本部を立ち上げ、受け入れ体制を整え行政、他病院、院内の情報を集約し、適切に指示する。



② 多くの負傷者(軽度)が来院。トリアージを行いつつ、適切な場所でスタッフが応急処置、治療にあたる。



③ 病態が急変した患者対応(救急搬送先確保など)や重症患者の治療に対応する。

腹水に悩む患者さんのために
大量の腹水を迅速かつ安全に治療する有効な治療法

腹水治療「KM-CART(腹水濾過濃縮再静注法)」について講演会開催

かなめ
要 第2クリニック院長 松崎 圭祐 先生

会場：JR長岡駅前
「生涯学習センター・バンビオ」

松崎先生からは、多数の症例が示され、これまでの CART 療法とは異なる点や、治療方法についてなどもわかりやすくご説明いただきました。

参加者は 45 名、遠くは岐阜、京都府下、大阪からも診療所の先生方がご参加下さるなど、有意義な講演会となりました。

腹水が溜まると腹部が膨満し、痛みが生じたり、食欲が減退するのみならず静脈還流が悪化して、様々な不自由や苦痛が生じます。KM-CART では、溜まった腹水を全量抜き、それを濾過して、細菌や悪性の細胞を取り除き、腹水中のアルブミン、ガンマグロブリン(癌抗体)を回収、濃縮して血管内に戻します。痛みがなくなり、元気でゴルフに出かけられようになり、旅行を楽しめたり、食事がとれるようになったりといった多くの症例をはじめ、従来の CART 療法より効果的と言われる点や腹水による痛みの緩和だけでなく、ガン治療にも効果があり、長期生存された症例なども示していただきました。さらに、従来は廃棄していた腹水中のガン細胞から、「癌ワクチン」を作成する研究も「国立がんセンター」や「がん研有明病院」と共同研究を進めておられることなど、将来への取り組みまで、丁寧に熱くご説明いただきました。



講演中の松崎先生



熱心に聞き入る参加の方々

千春会病院でも、「KM-CART(腹水濾過濃縮再静注法)」による腹水治療を行っており、実に全国 2 位の症例件数となっております。腹水でお困りの方は、ぜひお問い合わせください。

腹水 外来 お気軽に
ご相談下さい

千春会病院
☎ (075) 954-2175
担当医:内科 高垣 Drまで

看護部研究発表会 開催

看護部では、より良質な医療・看護の提供を目指し、毎年研究テーマを決めて、取り組んできた内容を発表する「研究発表会」を開催しています。理事長、院長はじめ多数の法人職員が参加し、このような研究を日々の仕事に活かしつつ、学会発表などにもつなげています。

今年は、病棟、外来、透析センター、介護老人保健施設春風からの発表となりました。

テーマは、大腸内視鏡検査の際に服用する薬剤の効果的な服用方法を検討した研究や転倒・転落事故防止における抑制解除の意識変化についての研究、自己抜針防止の取り組み、ショートステイでの看取り対応などが発表され、いずれも医療現場のみならず、介護現場にも応用できる内容として、意義のある研究となっており、その後の理事長全体総評も非常に高い評価となりました。これからも常に問題意識を持ち、「さらなる良質」を目指して取り組んでまいります。



理事長からの全体総評

いつまでも健康で生き生き！

住み慣れた地域で暮らし続けていただくために・・・

シニア世代対象 健康フェスタ 開催

長岡京市、地域包括支援センター
各自治会、老人クラブ等とともに

千春会協力施設

介護老人保健施設 春風
介護複合施設 今里
デイサービスセンター滝ノ町 他

いつまでも健康で生き生き暮らしていただくために、各地区の75歳以上の元気な高齢者の方を対象として、長岡京市役所高齢介護課、地域包括支援センター、各自治会、老人クラブが主として関わり、向日町警察署や千春会、その他介護事業所などの様々な関係機関が協力した「健康フェスタ」が各所で開催されました。

長岡京市からのご依頼を受け、千春会では会場提供や健康体操を受け持つなど、共に協力し合って、地域の方々の健康寿命を延ばすためのきっかけづくりに努めています。



多くの人で賑わう 老健春風での健康フェスタ

千春会も『健康フェスタ』に協力

— 会場提供・講師派遣 —

介護老人保健施設 春風 にて

春風で開催されたフェスタでは、多くの方々がお越しになり、和やかに会話しながら、骨密度測定、血管年齢測定や血圧測定など、ご自分の健康状態を正しくチェック。また、向日町警察署からは反射神経測定のゲーム機が提供され、モグラたたきのような機械にチャレンジされるなど、明るい笑い声とともに楽しく判定をされていました。「歩くことも大切ですが安全も大切」と、散歩の際の注意事項や反射テープの提供もありました。



測定で健康チェック



反射神経測定にチャレンジ

介護複合施設 今里 & デイサービスセンター 滝ノ町 より

職員が講師として健康体操をご紹介

「ストップ！転倒」をテーマに転倒予防体操が楽しいティータイムとともに実施されました。「長岡自治会館」「八条が丘地区健康フェスタ」にも千春会からは、介護福祉士や理学療法士などが講師として出向き、自宅で簡単にできる健康体操をいろいろご紹介して、一緒に体験していただくなど、数回にわたる健康行事に協力させていただきました。



健康体操の様子

千春会では、乙訓地域に「病院」をはじめ「老人保健施設」「デイサービス」「デイケア」「ショートステイ」「グループホーム」や看取り対応もしっかり行っている「サービス付き高齢者向け住宅」の他、訪問介護・看護一体型の24時間巡回サービス等の様々な機能を有した事業所を設けており、介護を必要とされる方のみならず、地域にお住まいのすべての方々に「良質な医療・看護・介護」の提供が可能です。

これからも事業所の持つ様々な機能や専門スキルを持った職員を通じて、いつも身近に相談できる存在として、地域の方々が、「健康で生き生きした毎日」となるよう、サポートしてまいります。

訪問看護実習受け入れ

同志社大学より

千春会では、医療従事者を目指す大学生の実習として、地域に密着した訪問看護実習も受け入れています。今年も「在宅での看護について」を学ぶべく、同志社大学から2回にわたり、4人の大学生が訪問看護ステーションにて実習。訪問同行やカンファレンスなどを通じて、今後の在宅生活を支えるために重要な役割を担う「訪問看護」について学びました。

大学生からは、「在宅生活を継続するためにも、今後増加していく「看取り」においても、「訪問看護」が密接に関わることが、本当に大切だと、しっかり認識できました。実際に同行したりする中、丁寧に指導していただき、様々なことが見えてきました。」との声。訪問看護が今後の在宅生活を支える重要な柱の一つであることなどを実感していただけたようです。



振り返り中の矢崎訪問所長(左)と同志社大学の学生さん

千春会では、中学生・高校生・大学生・専門学校生と多数の実習を受け入れることで、今後も次代の育成に協力してまいります。

ワクワクドキドキの中学生実習

向日市立寺戸中学校

長岡京市立長岡第三中学校

立命館中学校

今年もかわいらしい中学生の体験実習を受け入れました。

長岡京市、向日市の3校から多数の中学生が、医局、看護部、放射線科、リハビリ科、検査科などを体験し、介護部では、介護老人保健施設春風をはじめ数か所での体験となりました。

「将来は国連職員になりたい」「看護師になりたい」「介護を勉強したい」と夢いっぱいの中학생からはこんな感想をいただきました。



- ★ 仕事は小さいことをコツコツしていくことで社会が構成されていることがわかった。
- ★ 患者さんを安全に安心して車椅子で移動することは気がついた。

- ★ 患者さんを第一に考えて、ナースコールも一人ひとりにやさしく対応しておられ、大変さや忙しさがわかった。
- ★ 放射線技師や理学療法士、言語聴覚士などという職種があることを知った。

★ やさしく丁寧に教えてもらった。



- ★ 患者さんとお話ししたら「ここは、すごく安心できる」と言っただけですこいと思った。



- ★ 職員さんが楽しそうに利用者さんと接しておられた。
- ★ 利用者さんとの会話やレクリエーションが一緒にできて楽しかった。

職場での『お仕事体験』で、たくさんの学びを得てくれたようです。



歳時記
1

障害のある市民の雇用フォーラム
「勤続5年表彰並びに感謝状 贈呈式」
勤続5年おめでとう！

鳴滝総合支援学校を卒業して、介護老人保健施設春風で勤務する吉田匡治さんが勤続5年の表彰を受けました。春風には、鳴滝総合支援学校の卒業生が2人勤務していますが、吉田さんは、春風で受け入れた最初の障害者雇用です。メンテナンスを学校でしっかり学び、施設規模の大きな春風のメンテナンスをコツコツとこなし、後輩の実習もサポートするなど、しっかりと後輩の入職にもつなげてきました。表彰式当日は、責任者の入谷マネージャーと共に出席し、表彰状と感謝状をいただきました。

今後も千春会では、障害者の方が自立した職員として、共に頑張れるような体制や受け入れ方をさらに講じて、一層の雇用を進めてまいります。



表彰状を手に吉田さん(左)と入谷マネージャー(右)

障害者雇用について
取材を受けました！

(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構のホームページで紹介されます

雇用支援機構からの依頼を受け、デイサービス友岡で勤務の橘さんとデイサービス滝ノ町で勤務の西原さんの2人が、その勤務ぶりや法人の社会的配慮のモデルケースとして、機構のホームページに掲載されることとなり、取材を受けました。

さりげない配慮でサポートしてきた滝ノ町和泉主任、友岡千賀主任も一緒に毎日の勤務や取組みについて笑顔でインタビューに応じました。



滝ノ町でのインタビュー風景

歳時記
3

JR長岡京駅前周辺
イルミネーション点灯

毎年、JR 長岡京駅付近で点灯されるイルミネーション。周辺の企業はじめ、毎年千春会も参画する年中行事です。

今年も周辺はさらに美しく照らし出され、見事なイルミネーション事業となりました。地域とともに、さらなる協力で、みなさんに楽しんでいただけるよう、来年も工夫してまいります。



病院前から長岡京駅近辺のイルミネーション

歳時記
2

総合2位 おめでとう！
小規模多機能型居宅介護施設 あさつゆ
長岡京市 合同運動会
応援合戦・輪なげ・玉入れ1位！

小規模多機能型居宅介護施設『あさつゆ』が、今年も合同運動会に参加しました。みなさんお揃いの紫のユニフォームと鉢巻で大奮闘！



がんばった「あさつゆ」チームの皆さん

応援合戦も玉入れも素晴らしい成績で1位となり、総合では見事、2位を獲得しました！

利用者さんも職員も一緒に頑張った、笑顔あふれる和気あいあいの合同運動会でした。

編集後記

明けましておめでとうございます。
本年もどうぞよろしく願い申し上げます。
雪の降る前は凍てつくほど寒く、柔らかく降り積り始めるとなぜか温かい。
何かに真剣に取り組み、苦悩の中から一歩が始まった時のよう。

新雪の長岡天満宮、鳥居に向かう確かな足跡のように、今年も千春会は、確実に一歩一歩を踏みしめて進んでまいります。
白銀の清浄さと明けゆく朝日に輝かしい「希望」を感じて…(弘)。

表紙写真…元・乙訓医師会会長、監事歴任の七岡先生ご提供

患者さまの権利と義務

当院では、次に掲げる患者さまの権利を尊重します。

- 1 患者さまは誰でも、良質な医療と良質な看護を公平に受ける権利があります。
- 2 患者さまは、医療の内容について納得できるまで十分な説明を受ける権利があります(インフォームドコンセント)。
- 3 患者さまは、他の医療機関の医療者に意見を求める権利があります(セカンドオピニオン)。
- 4 患者さまは、医師から説明を受けた治療方法など自らの意思で自由に選択し決定する権利があります。
- 5 患者さまは、ご自分の診療録など診療情報の開示を求める権利があります。
- 6 患者さまは、個人の情報やプライバシーの保護を受ける権利があります。

また良質な医療と看護を公平に受けていただくために、患者さまに次の義務をお願いしております。

- 1 患者さまご自身の健康に関する情報を、できるだけ正確にご提供ください。
- 2 十分理解できるまで質問していただき、納得した上で治療をお受けください。
- 3 患者さまおよびご家族の方々は、他の患者さまの治療や職員による医療提供の支障にならないように協力する義務があります。



日本医療機能評価機構認定病院

千春会病院

〒617-0826 京都府長岡京市開田2丁目14-26
TEL. (075)954-2175 FAX. (075)955-4615